

生徒指導だより

夏の爽やか服装号(第5号)

◆梅雨だ梅雨だというけれど…

ずいぶん早く梅雨入り宣言がありましたが、全く梅雨らしくない真夏のような日々が続いていますね。暑い、暑いのです。先生もネクタイを外し「クールビズ」スタイルで日々生徒指導に当たっています。

1年2年の教室にはクーラーもなく、扇風機から来る風は熱風…というなかなか授業に集中しづらい気候ではありません。ただ、暑い暑い日々であるからこそ、さわやかに制服を着こなし、服装から涼感を出していきたいと思います。今回は夏の爽やか服装号と題し、夏の制服について集会で話したことのおさらいをします。おうちの方にも読んでいただいて正しい服装で登校しましょう。

◆集会で、夏服と合服について再度説明しました

【男子】カッターシャツはズボンの中に入れて登校する。カッターシャツは短く折り込んだり、切ったりしない。ズボンはロールアップしない。

- ・合服：市販の白カッターシャツ、左胸ポケットに名札を縫いつける。
- ・夏服：指定の半袖開襟カッターシャツ(胸に二中校章・襟に2本紺ライン)、左ポケットに名札を縫いつける。



【女子】セーラー服の裾を短く折り込んだり、切ったりしない。スカートはひざ丈を標準とする。

- ・合服：二中指定の白い長袖セーラー服(紺のネクタイ)、左胸ポケットに名札を縫いつける。
- ・夏服：二中指定の白い半袖セーラー服(紺のネクタイ)、左胸ポケットに名札を縫いつける。

【中に来ていい服】

- ・白色の肌着、もしくは白色のTシャツ(こぶしで隠れる程度のワンポイントは可、半袖体操服を着ても可)

以上の内容を6月17日の集会で、実際に正しく着こなせている生徒に前に立ってもらって、説明しました。みなさん、ルールを守って正しく登校しましょう。



◆二中生の真価が問われる



今週いよいよ3年は修学旅行、2年は仕事体験の打ち合わせ、1年は木曜日に地域新聞の取材活動と、みんな二中を飛び出し地域や地域の方の職場、また長崎県と二中の外で活動をする場面がやってきます。以前、ベストセラーになった本の中に「人は見た目が9割」という本があります。ただその一方で、「人を見た目で判断してはいけない。」というのは正しいことです。しかし、職場の方や聞き取りをさせていただく方に、気持ちよくお話に入ってもらうには、やはり聞かせてもらうこちらの心と身なりを整えることが必要です。

今週は二中生の真価が問われます。一生懸命活動する様子は必ず相手の方に伝わります。「また来年もこの子たちに話がしたい。」と思ってもらえるような姿勢と服装で、活動に参加しましょう！